



学習者用デジタル教科書を効果的に使って 児童生徒の学ぶ力(学力+意欲)を伸ばしましょう!

©岡山県「ももっち」

令和4年度は、小学校高学年及び中学校の全ての学年で「外国語科(英語)」の学習者用デジタル教科書(以下、「デジタル教科書」とする。)を使用することができるようになっています。今号では、授業でデジタル教科書を使用する際の留意点等をお伝えします。

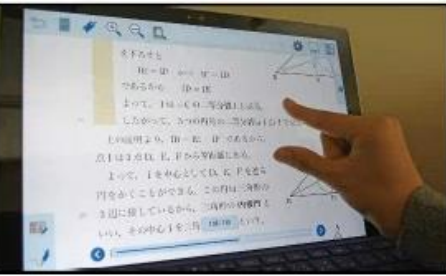
「デジタル教科書」の主な機能の紹介

参考:学習者用デジタル教科書の効果的な活用の在り方等に関するガイドライン 附属資料(文部科学省)

①拡大表示機能

②書き込み機能

③保存・表示機能



その他、特別な配慮を必要とするなどの児童生徒に対する効果的な学習方法として、④音声読み上げ機能、⑤色の変更・反転機能、⑥ルビ振り機能があります。

「デジタル教科書」の外国語科の授業における留意点

外国語科の授業で「デジタル教科書」を使用するときには、どのようなことに気を付けるとよいでしょうか。

次に示す2点に気を付けましょう。



① **コミュニケーションの相手等への配慮が想定されない活動に偏らないこと**
(例: 音声を聞いて問題の答えを記入し、正誤を確認するだけの活動)

② **受け身の学習にならないこと**
(例: 新出語彙を繰り返し聞いて、それを知識として覚えるだけの活動)

岡山県では、「学ぶ力(学力+意欲)」の育成のために、教師が「教え込む」授業から児童生徒が「主体的に学ぶ」授業への転換を図ることとともに、ICT端末を活用しながら課題解決する「探究的な学習」を推進しています。特に、外国語科においては、**目的や場面、状況などを設定した課題を立てることが重要です。**

「デジタル教科書」の外国語科における活用例

目的や場面、状況などを設定した課題



「デジタル教科書」を活用する場面の設定

中学校1年生 外国語科「Foreign Artist in Japan」
課題 「ジャズミンやその家族に、岡山の歴史や文化に興味をもってもらえる内容を紹介します」



デジタル教科書で使いたい表現を文章と**音声で確認**する。



デジタル教科書で**過去に保存しておいた表現を再確認**する。



デジタル教科書に直接**ポイントを書き込む**。



目的や場面、状況などを設定した課題の詳細については、「教科等におけるICT活用事例集 STAGE3編(第二版)」(令和4年3月岡山県教育委員会)を参考してください。



児童生徒の資質・能力の育成のために、デジタル教科書を効果的に活用しましょう。
Let's try to open it!



自信を持って岡山県について紹介できそうだ!